

# 竜王町議会等の概要

若者も暮らしたい

糸州からみる

輝竜の郷

滋賀県蒲生郡竜王町議会

2021. 4版

## みどりと文化の町 竜王町の概要

### 【特 色】

滋賀県竜王町は、琵琶湖の東南部、蒲生平野に位置し、万葉ロマン漂う緑豊かな文化の町です。町内に残る多くの古墳群は、この地がはるか古代から開けていたことを示しています。雪野山が位置する蒲生野は、万葉の昔、額田王と大海人皇子が交わした相聞歌の舞台であったといわれています。

町内鏡を通過する国道8号は、中世の東山道、近世の中山道にあたり宿場として栄えた地域。鏡宿の本陣跡があります。また遮那王（牛若丸）が京都鞍馬から奥州平泉へ下向の途中に、この地で元服し、源九郎義経と名乗ったと平治物語、謡曲「烏帽子折<sup>えぼしおり</sup>り」に表されています。元服池、元服時に使ったと言われる盥の底板、烏帽子掛松、鏡神社、義経ならびに頼朝などが宿泊した白木屋跡など義経ゆかりの足跡があり、古代から歴史浪漫溢れる町であります。

また肥沃な大地に恵まれた古くからの農業の町で、良質の『近江米』が生産され、『近江牛』の肥育の本場でもあり、平成28年10月には『近江牛発祥の地』を宣言いたしました。

一方、町内を東西に横断する名神高速道路が昭和39年に開通、昭和56年には、竜王インターチェンジが開設され、これを契機にダイハツ工業滋賀竜王工場（約200ha）の進出をはじめ、樹脂、印刷、機械、食品等の工業面においても急速に発展してきました。

平成5年には、雪野山のふもとに史跡広場『妹背の里』がオープンし、緑あふれる自然の中でのキャンプ、散策、歴史探訪と季節に応じて思いの楽しみ方ができる魅力ある施設となっています。

平成6年に着手した山之上農林公園事業（60ha）は、「農村環境改善センター」「産地直売店」「農村田園資料館」「農産物処理加工施設」や「喫茶・軽食コーナー」などが次々に整備され、『アグリパーク竜王』として親しまれています。整備された新しい農園では、さくらんぼ・桃・ぶどう・梨・柿などの果樹、野菜の栽培、いちごのハウス栽培が行われ、道路網の整備とともに近傍にない新しい農空間が創造されつつあります。

竜王町総合運動公園は、平成8年に第1期計画の屋根付き多目的グラウンド『ドラゴンハット』（7000 m<sup>2</sup>）が竣工し、全国でも珍しい公園施設として注目を集めており、平成12年には、第2期計画の体育館・温水プール・弓道場を一体化した『ドラゴンスポーツセンター』と、福祉

に配慮した香りの草木の庭園『しあわせの庭園』が完成し、多くの利用  
者で賑わっています。

平成15年には、町防災センターが竣工し、安全・安心のまちづくり  
の拠点施設として期待が高まっています。

また、同年11月にオープンした道の駅「竜王かがみの里」は、国道8  
号沿いでは、初めての道の駅で、周辺には、「源義経の元服池」があるこ  
とから、施設正面屋根が烏帽子<sup>えぼし</sup>の形の造りとなっています。施設内には、  
レストラン・特産品コーナー・地場産品販売コーナー等があり、地域振  
興が図られています。

平成22年の7月には、大型商業施設である三井アウトレットパーク  
滋賀竜王が、西の丘陵地の竜王インターチェンジの隣接地にオープンし、  
平成25年にさらに増床し、連日1万人以上の来場者でにぎわっていま  
す。アウトレットのオープンは地域経済への波及効果も大きく、農・工・  
商がバランスよく調和したまちづくりとなっています。

平成23年2月には役場前にスーパー平和堂がオープン、3月には公  
民館がリニューアルオープンしました。また、このエリアには複数の民  
間医療機関も開院し、役場を中心に、老若男女が集えるタウンセンター  
としての機能がさらに充実しました。

平成26年11月には、県と開発を進めてきた「滋賀竜王工業団地」  
(分譲面積 30.6ha) が、分譲予約受付を開始し、平成30年6月には、  
一社目となる企業の新工場が稼動されました。

そして、町制60周年を迎えた平成27年には、『アグリパーク竜王』  
が町内2つめの道の駅として登録を受け、平成28年には2つの道の駅  
が『重点道の駅』に選定され、活気あふれるまちづくりに日々躍進して  
います。

【面積】 44.55 km<sup>2</sup>

【類型番号】 IV-3

【町村合併】 昭和30年4月29日

(明治22年、苗村・鏡山村が発足、昭和30年4月、  
2村合併で竜王町となる。)

【都市形態】 田園都市

【姉妹都市】 アメリカ ミシガン州 スーサー・マリー市

【地目別土地面積】

(令和2年1月1日現在)

	田	畑	宅地	山林・原野	その他	計
面積	1,242	111	414	1,324	1,364	4,455ha
構成比	27.9	2.5	9.3	29.7	30.6	100.0%

【国勢調査】

	平成27年	平成22年	平成17年
人口	12,440人	12,916人	13,280人
男	6,516人	6,841人	7,072人
女	5,924人	6,075人	6,208人
世帯	4,262世帯	4,413世帯	4,311世帯
第1次産業(構成比)	459人(6.6%)	504人(6.9%)	549人(7.3%)
第2次産業(構成比)	3,141人(45.3%)	3,558人(48.4%)	3,760人(49.6%)
第3次産業(構成比)	3,321人(47.9%)	3,258人(44.7%)	3,269人(43.1%)

※ 第3次産業には分類不能を含む。

【住民登録】

	令和3年3月31日	令和2年3月31日	平成31年3月31日
人口	11,609人	11,738人	11,994人
世帯数	4,321世帯	4,293世帯	4,317世帯
一世帯当り平均人員	2.7人	2.7人	2.8人
人口密度	261人/k㎡	263人/k㎡	269人/k㎡

※日本人のみ

【職員数】

(令和3年4月1日現在)

定数	154人	現職員数	146人
----	------	------	------

一般行政職

(令和2年4月1日現在)

平均年齢	38.9歳
------	-------

【教育施設等】

(令和3年4月1日現在)

	幼稚園	小学校	中学校
学校数	2	2	1
学級数	7	33	13
児童・生徒数 (R2.4.1)	117 (130)	682 (700)	348 (348)

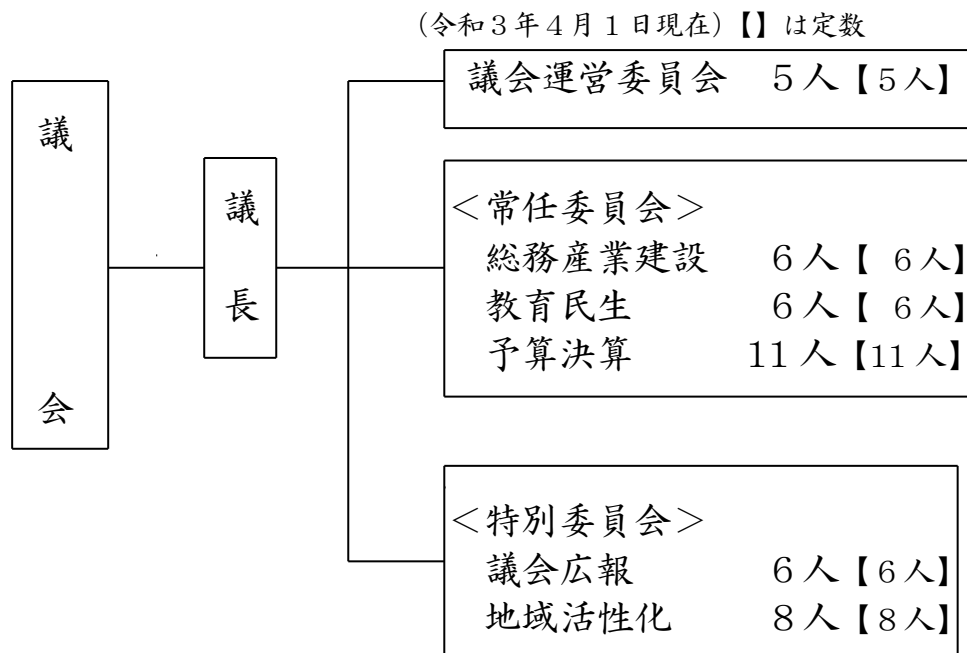
【その他の主な施設】

公民館・図書館・農村運動広場・学校給食センター・保健センター・福祉ステーション・農村女性の家・勤労福祉会館・総合運動公園（ドラゴンハット・ドラゴンふれあいセンター・ドラゴンスポーツセンター・しあわせの庭園・テニスコート・冒険の丘・自由広場・スポーツジム&スタジオ）・雪野山史跡広場（妹背の里）・道の駅アグリパーク竜王（農村環境改善センター・農村田園資料館）・道の駅竜王かがみの里・ふれあいプラザ（4ヶ所）・コミュニティ防災センター・町防災センター・シルバーワークプラザ・医科診療所・歯科診療所・ふれあい相談発達支援センター・竜王小学校区学童保育所・武道交流会館・滋賀県希望が丘文化公園「青年の城」（県の施設）

【議会の概要】

1. 議会の組織および構成

(1) 議会組織



議員定数

竜王町議会定数条例定数 12名

(平成19年6月18日 議員提案)

議員現数 (令和3年1月1日現在) 12名

- (2) 任期  
 議員 4年  
 (第17期 令和元年10月1日～令和5年9月30日)  
 議長・副議長 4年  
 常任委員 2年

- (3) 所属党派議員数 (令和3年4月1日現在)  
 日本共産党 1名 無所属 11名

- (4) 年齢別議員数 (令和3年4月1日現在)

	30代	40代	50代	60代	70代	平均年齢	最年長	最年少
男	1	2	1	3	3	59.7	73	36
女				2		67.5	69	66
計	1	2	1	5	3	61.0		

- (5) 在職年数別議員数 (令和3年4月1日現在)

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	合計
男	6	2		1		1	12
女	2						
計	8	2		1		1	12

- (6) 議会事務局 (監査委員・公平委員会兼務)  
 設置条例制定 昭和36年4月1日  
 事務局職員 2名 (局長・書記)

## 2. 議員報酬等

- (1) 議会費(令和3年度当初予算)

区分	金額(千円)	区分	金額(千円)
報酬	30,804	需用費	1,744
給料	8,520	役務費	205
職員手当等	15,403	委託料	1,543
共済費	13,990	使用料及び賃借料	246
報償費	0	備品購入費	0
旅費	1,457	負担金及び交付金	2,048
交際費	200	総計	76,160

(2) 報 酬 (平成27年4月1日最終改正)

区 分	報酬月額	区 分	給料月額
議 長	301,000 円	町 長	700,000 円
副 議 長	226,000 円	副 町 長	601,000 円
委 員 長	206,000 円	教 育 長	563,000 円
議 員	201,000 円		

(3) 期末手当支給率 (令和3年4月1日現在)

6月 167.5/100 12月 167.5/100 ※他に加算措置15%

(4) 費用弁償 日 当 850円 (本会議・委員会開催時支給)

3. 定例会・臨時会 (令和2年1月1日～令和2年12月31日)

(1) 開催回数・会期日数

区 分	開催回数	会 期 日 数		
		延日数	最 高	最 低
定 例 会	4回	90日	25日	20日
臨 時 会	3回	3日	1日	1日
計	7回	93日		

(2) 議案件数

年間延件数		105件	
会議別	定例会	100件	
	臨時会	5件	
提出者別	町長提出	条 例	19件
		予 算	44件
		決 算	9件
		専決処分	5件
		そ の 他	28件
		計	105件
	議員提出	意見書	2件
	決 議	0件	
	条 例	1件	
	そ の 他	0件	
	計	3件	
提出者別議決結果	町長提出	原案可決等	103件
		原案撤回	2件
		否 決	0件
		継続審査	0件
		計	105件
	議員提出	原案可決等	3件
		修正可決	0件
		否 決	0件
		計	3件
		請願・陳情受理件数	1件
		審議件数	0件
採 択	0件		
不採択	0件		
取下げ	0件		
継続審査	0件		
資料配付	1件		

(3) 一般質問（定例会）

延質問数 70問 延人数 40人 実人数 11人

(4) 一般傍聴者 年間計5人

4. 委員会活動回数（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

区 分		開会中	閉会中	合 計
議会運営委員会		12	9	21
常 任	総務産業建設	4	2	6
	教育民生	4	2	6
	予算決算	10	0	10
特 別	議会広報	4	15	19
	地域活性化	3	0	3
全員協議会		15	9	24

5. 議会運営

(1) 議会運営委員会の組織

構成 5名（うち常任委員長2名）

主な調査・審査事項

会期・議事日程・議会関係条例等の改廃、請願・陳情等の取扱い、その他議会運営に関する事項

(2) 議員の発言

一般質問： 定例会中において、議長の定めた期限までに通告することとし、対面で行っている。発言は通告順、時間制限はないが、1人5問以内とする。質問は再々質問まで、関連質問は許可していない。

質 疑： 通告制をとらず、回数については3回（再々質問）までとする。

緊急質問： 会議に諮り決定する。



(3) 条例・予算・決算の審査

条 例	あらかじめ全員協議会において概要説明 開会日には提案理由の説明と補足説明 再開日（第2日）に質疑・討論・表決 委員会付託とすべきものは質疑の後、討論を省略して所属委員会に審査を付託（会期中に審査） 閉会日に委員長報告・質疑・討論・表決
当初予算	あらかじめ全員協議会において概要説明 開会日には提案理由の説明と補足説明 再開日（第2日）に質疑の後、討論を省略して予算決算常任委員会に審査を付託（会期中に審査） 閉会日に委員長報告・質疑・討論・表決
補正予算	あらかじめ全員協議会において概要説明 開会日には提案理由の説明と補足説明 再開日（第2日）に質疑の後、討論を省略して予算決算常任委員会に審査を付託（会期中に審査） 閉会日に委員長報告・質疑・討論・表決 ただし、3月定例会は再開日（第3日）に実施
決 算	あらかじめ全員協議会において概要説明 開会日には提案理由の説明と補足説明 再開日（第2日）に質疑の後、討論を省略して予算決算常任委員会に審査を付託（会期中に審査） 閉会日に委員長報告・質疑・討論・表決

(4) 人事案件

あらかじめ全員協議会において町長から報告、本会議で質疑・討論・表決（起立採決または投票による）

(5) 常任委員会の所管事務調査

閉会中の継続調査について本会議で議決、閉会中の継続調査申出書に基づき日時等を議長に通知、委員会を開催し所管事務調査を行い次の定例会に調査結果を報告

(6) 請願・陳情の取扱い

常任委員会に付託して審査する委員会中心主義をとっている  
事前に議会運営委員会で協議、本会議（第2日）に所属委  
員会に審査を付託（会期中に審査）

閉会日に委員長報告・質疑・討論・表決  
陳情については、写しを議員に配付

(7) 施政方針・町政報告

新年度の施政方針については3月議会の開会日に、町政  
報告は定例会ごとに議会の開会日に報告

(8) 議会全員協議会

毎月1回前後に定例協議会を開催（議員派遣の報告）、その他必要  
に応じて開催（内容により町長からの要請により開会）

(9) その他の事項

議会広報の発行

「議会だより」を定例会ごと年4回発行

編集は議員（委員6人の議会広報特別委員会を設置）が行う

予算1,633千円(令和3年度) 4,100部/回を印刷

全戸配布（業務委託）・公共機関等配付・ホームページ掲載

会議録の調整

全文記録とし、会議収録記録メディアの反訳（業者委託）

原本と閲覧用・図書館用・町長送付用のみ印刷製本、議員配付  
はしていない。ホームページ掲載。

議会の傍聴・公開

有線放送で本会議を生放送

## 議会基本条例の制定・推進の経過

開催日	内 容	備 考
平成22年10月18日	議会基本条例制定に向けた講師による研修会	
平成22年第4回定例会	議会基本条例制定特別委員会の設置提案可決	
平成23年1月	委員会審議を重ねる 京都府精華町、奈良県平群町へ視察研修	
平成23年5月	竜王町議会基本条例（案）住民説明会 広島県呉市、山口県和木町へ視察研修	
平成23年第2回定例会	条例可決	
<b>平成23年6月20日</b>	<b>公布・施行</b>	
平成23年第4回臨時会	議会基本条例推進特別委員会の設置提案可決	
平成24年6月	近隣市町の本会議・委員会傍聴 各市町の議会運営の方法調査	
平成24年11月	調査結果まとめ 議会運営委員会に対し検討課題の協議を求める	
平成24年12月	議会運営委員会より執行部へ 「一般質問に係る議会運営について」申し入れ	
平成24年12月 平成25年1月	執行部より議会に回答	
平成27年3月	町制施行60周年事業「子ども議会」開催	DVD有

## 議員の視察研修

年度	委員会名	研修先	研修内容
26	総務産業建設常任委員会	福島県新地町 岩手県釜石市	災害事象での課題と対応から減災に向けての取り組み
	教育民生常任委員会	大分県豊後高田市・大分市	学びの21世紀塾的ヶ浜事件
	地域活性化特別委員会	岡山県総社市	企業誘致成功への仕掛労働力確保に向けた取り組み
27	総務産業建設常任委員会	愛媛県内子町 フレッシュパークからり	六次産業化、ブランド化成功、農商工連携による加工品開発の取組
	教育民生常任委員会	岐阜県多治見市 笠原小学校・中学校	英語教育に関わる小中一貫教育の現状
28	総務産業建設常任委員会	神奈川県山北町・松田町	人口増加に向けた「受け皿」づくり 町有地や民間ノウハウを活用した住宅施策と空き家対策の取り組み
	教育民生常任委員会	長野県松川村・須坂市	介護認定を抑止また認定率を低くするための取り組み 健康寿命の延伸のための取り組み
	地域活性化特別委員会	兵庫県三田市 北摂三田第二テクノパーク	企業誘致成功への仕掛けと優遇措置、住宅施策について
	人口減少対策特別委員会	山梨県昭和町	人口減少抑止のための子育てニーズとその支援
	議会広報特別委員会	山梨県昭和町	議会広報の取り組み
29	総務産業建設常任委員会	島根県雲南市	地域自主組織づくりと若者チャレンジの取り組み
	教育民生常任委員会	広島県廿日市市宮島中学校 兵庫県神戸市港島学園	小中一貫の義務教育の取り組み 英語教育における会話実践を兼ねた観光ボランティアの取り組み 学校施設のあり方

	議会広報特別委員会	高知県越智町	議会広報の取り組み
30	総務産業建設常任委員会	福岡県粕屋町	防災行政無線について
	教育民生常任委員会	東京都足立区 第二日暮里小学校	プログラミング教育の 取り組み
	地域活性化特別委員会	新潟県(株)雪国まいたけ	企業誘致における竜王 町のPR戦略について
	議会広報特別委員会	埼玉県寄居町	議会広報の取り組み
元	総務産業建設常任委員会	島根県邑南町	日本一の子育て村構想 を核とした定住促進の 取り組みについて
	教育民生常任委員会	東京都町田市	認知症予防の取り組み

### 議会報告会（懇談会）の開催

開催日	対象者	内容	備考
平成19年5月	全住民	3月定例会審議内容、委員会活動	5会場
平成21年		新型インフルエンザにて中止	
平成22年5月 20日～22日	全住民	3月定例会審議内容、委員会活動	6会場
平成24年6月30日	全住民	住みやすい竜王に向けて 竜王小学校改築について	分科会
平成25年5月22日	全住民	平成25年度のまちづくり事業について	
平成26年5月24日	全住民	私たちのまちづくり「教育・福祉」を考 える。	
平成27年5月16日	全住民	住みよいまちづくりに向けて	懇談会
平成29年1月21日	PTA	子育て教育をみんなで考えよう	分科会
平成29年7月 8日	全住民	竜王インター周辺整備について 竜王町立幼稚園の預かり保育時間の延長 について 滋賀竜王工業団地の現状について	委員長 報告
平成30年8月20日	民生委員 児童委員	地域活動の状況と課題	分科会 懇談会
令和2年1月16日	健康推進 員	りゅうおう健康ベジ7（セブン）チャレ ンジ活動の取り組み状況と課題について	分科会 懇談会